



No.21-052
2021年 10月 7日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央 オンライン含めた常任幹事会 (10/6)

総選挙 自公政権倒し野党連合政権を アピール発表 沖縄県民と全国で連帯の行動

安保破棄中央実行委員会は6日、全労連会館でオンラインを含めた常任幹事会を開き、11団体14名が参加しました。

東森英男事務局長は報告で、自民党総裁選は安倍・菅政治の枠を出る議論がなく、党内の権力争いにすぎないと指摘。岸田文雄新首相が「台湾有事」に安保法制に基づく「軍事対応」に言及し、広島出身でありながら核禁条約批准に背を向けた責任は重大だと批判しました。安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合が提起した「共通政策」6本柱・20項目に立民、共産、社民、れいわ新選組の4党が総選挙を前に合意した意義は大きいと強調。野党連合政権の実現とともに、安保条約廃棄を掲げる政治勢力の前進が重要と訴えました。

また東森氏は、安保中央が9月29日にアピール「辺野古新基地をつくらせない沖縄県民の決起に呼応し、全国で連帯の行動を」発表し、アピールが市民連合と4野党の「共通政策」合意も踏まえ、総選挙で政権交代を実現し、「辺野古新基地計画を中止する政府」をつくるために、沖縄県民と連帯したたかひのうねりをつくらうと呼びかけました。



安保常幹 (全労連)

当面のとりくみでは、総選挙で、自公政権を倒して野党連合政権を実現すること、安保中央のアピールを踏まえ、辺野古新基地建設中止させるため各地で集会や宣伝、署名などに取り組むこと、オスプレイの配備撤回に向けた国民運動(署名など)を広げることなどが確認されました。

討論では、横田のオスプレイの仙台空港緊急着陸と配備反対の要請・運動(安保東京)、WEB集会10.3 原子力空母いらない! 横須賀集会について(安保神奈川)、オスプレイの訓練状況、馬毛島のたたかい(平和委員会)、総選挙への運動や署名活動(新婦人)、総選挙と沖縄連帯行動について(国公労連)、陸自の大規模実動演習(安保千葉)などの取り組みが報告されました。

核兵器禁止条約 チリ 56 か国目の批准

南米のチリが9月23日、核兵器禁止条約を批准しました。これにより同条約を批准した国は56か国になりました。チリ上院は8月下旬に核禁条約の批准を全会一致で可決しました。核禁条約に署名した国は23日で86か国になりました。岸田文雄新首相は、被爆地の広島出身です。日本政府は、核禁条約を批准するようとりくむべきです。



仙台空港に緊急着陸した CV22 オスプレイ (9/22)

普天間基地(沖縄)の米軍海軍基地(東京)の米軍特殊作戦機 CV22 オスプレイが低空飛行や夜間訓練、騒音などで、国民生活への被害が各地で出ています。CV22は、この4カ月間で6月14日に山形空港、9月22日に仙台空港に緊急着陸を行っています。民間飛行機の離着陸に影響が出ました。この問題で、日本共産党の笠井亮衆院議員や横田基地周辺の住民や議員らが10月5日、防衛省に説明を求めました。防衛省担当者は、仙台空港への緊急着陸について、飛行中に警告ランプの点灯で予防着陸したと、米軍発表を繰返し、「オスプレイは危険なものとは考えられない」と回答。米軍は運用内での国会に提出予定です。

参加者からは、「地元の問題があるの、事故の詳細や原因を公表しないと」としています。

兵隊 M V 22 オスプレイと、横

防衛省
説明会

山形・仙台空港に緊急着陸 オスプレイ配備撤回を総選挙争点に

全国統一署名のとりくみ強化を

上の問題があるの
で、事故の詳細や原因を公表しないと
しています。